

AsciiDoc ユーザーマニュアル(詳細版)

K0.1, 2019/08/24

目次

1. 配布パッケージについて.....	1
2. AsciiDocについて	2
3. 環境構築手順	3
3.1. Chocolateyをインストール.....	3
3.2. Chocolateyのリポジトリから各種パッケージをインストール.....	4
3.3. AsciiDoc関連ツールをインストール.....	8
3.4. VScodeの拡張機能をインストール	9
4. 使い方.....	10
4.1. VScodeで実際にAsciiDocを書いてみる.....	10
4.2. AsciiDocで書いた文章をGitで管理する	14

1. 配布パッケージについて

中身は以下の通り

```
AsciiDocPackage/  
└ template/                                // 文章のテンプレート一式  
  └ csv/                                    // CSVファイルを格納  
  └ fonts/                                  // フォントファイルを格納  
  └ images/                                // イメージファイルを格納  
  └ style/                                  // スタイルファイルを格納  
  └ make_pdf_test.bat                      // AsciiDoc→PDF変換用スクリプト  
    └ test.adoc                            // AsciiDocドキュメントのテストサンプル  
    └ test2.adoc                           // AsciiDocドキュメントのテストサンプル2  
└ tool/                                    // インストール用バッチファイル  
  └ ①ChocolateyInstall.bat  
  └ ②ChocolateyPackageInstall.bat  
  └ ③AsciiDocToolInstall.bat  
    └ ④VScodeExtensionInstall.bat  
└ AsciiDocUserManual.pdf                  // 手順書
```

2. AsciiDocについて

AsciiDocとは？

- Markdownのような軽量マークアップ言語の一つ
- プレーンテキストで体裁が整った文章が書ける
- 可読性が高くMarkdownよりも表現力が高い

メリット

- テキスト形式なのでGitで管理しやすい
- インクルード機能により外部ファイルの読み込みができる
- HTML、PDFへの変換ができる

3. 環境構築手順

3.1. Chocolateyをインストール

以下のバッチファイルをダブルクリックで実行する

①ChocolateyInstall.bat

- ユーザーアカウント制御の許可のポップアップが出るので **はい** をクリック
- コマンドプロンプトが表示されて処理が進むので自動的に閉じたら完了

<覚え書き>実行内容について

コマンドプロンプト(管理者権限)で以下を実行

```
@"%SystemRoot%\System32\WindowsPowerShell\v1.0\powershell.exe" -NoProfile  
-InputFormat None -ExecutionPolicy Bypass -Command "iex ((New-Object  
System.Net.WebClient).DownloadString('https://chocolatey.org/install.ps1'))" &&  
SET "PATH=%PATH%;%ALLUSERSPROFILE%\chocolatey\bin"
```



公式サイト

<https://chocolatey.org/install#installing-chocolatey>

インストール手順解説(日本語)

<https://qiita.com/konta220/items/95b40b4647a737cb51aa>

Chocolateyとは?

- Windows上で動作するソフトウェアをコマンドラインでパッケージ管理可能なツール

メリット

- Chocolateyのリポジトリに登録されているパッケージを**一発でインストール**できる
- Chocolateyでインストールしたソフトは**一括でアップデート**できる

3.2. Chocolateyのリポジトリから各種パッケージをインストール

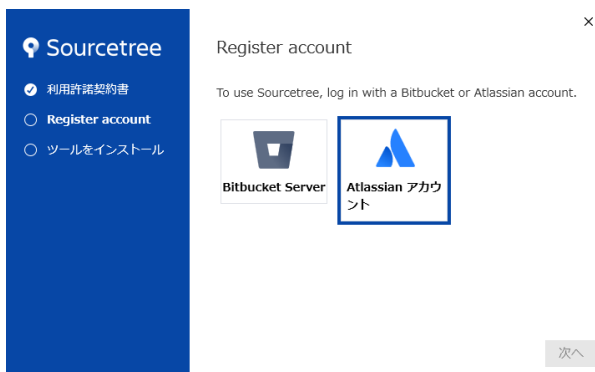
以下のバッチファイルをダブルクリックで実行する

②ChocolateyPackageInstall.bat

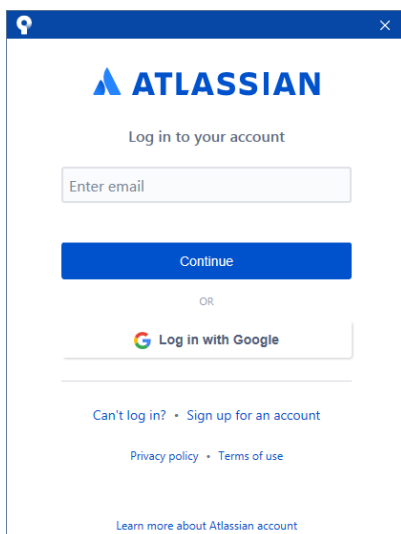
- ユーザーアカウント制御の許可のポップアップが出るので **はい** をクリック
- コマンドプロンプトが表示されて処理が進むのでしばらく待つ
- 下記画面が表示されたら **ライセンスに同意します** にチェックを入れて **次へ** をクリック



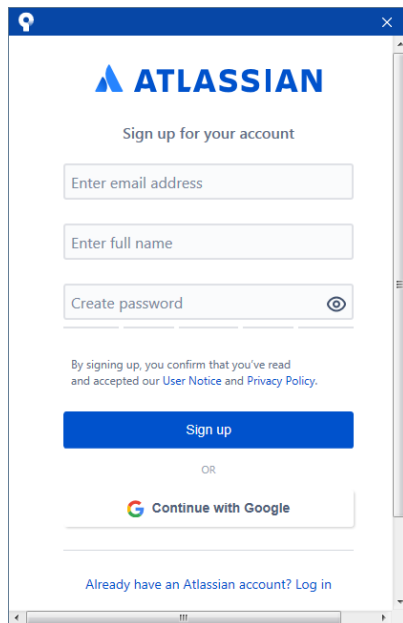
- **Atlassianアカウント** を選択して **次へ** をクリック



- **Enter email** にメールアドレスを入力して **Continue** をクリック



- 続けて、**Enter full name** にニックネーム、**Create password** にパスワードを求められるので入力して、**Sign up** をクリック (※既にアカウントを持っている場合は通常のサインインを行う)

A screenshot of the Atlassian account sign-up page. The page has a blue header with the Atlassian logo. Below the logo, it says "Sign up for your account". There are three input fields: "Enter email address", "Enter full name", and "Create password" with a password strength indicator. Below these fields, there is a line of text: "By signing up, you confirm that you've read and accepted our User Notice and Privacy Policy." followed by a blue "Sign up" button. Below the button, it says "OR" and then a "Continue with Google" button. At the bottom, it says "Already have an Atlassian account? Log in".

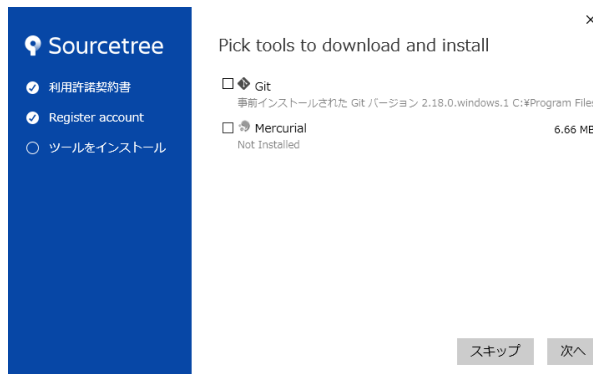
- reCAPTCHAの画像認証の指示に従って選択を行い、**確認** をクリック



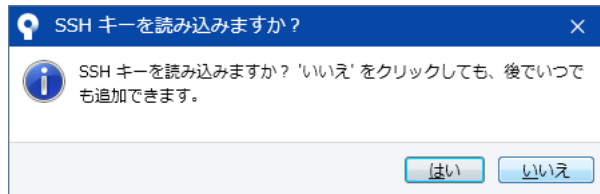
- 認証に成功すれば登録完了画面に遷移するので、**次へ** をクリック



- ツールのインストール画面に遷移するので **Git** にだけチェックを入れて、**次へ** をクリック (※既にGitをインストール済みの場合はそのまま **次へ** をクリック)



- SSHキーを読み込みますか？が表示されたら **いいえ** をクリック



- Sourcetreeが自動的に立ち上がったのが確認できたらアプリを一旦閉じる



- コマンドプロンプトの画面内にて、Atlassianアカウントを作成完了したか聞かれるので、完了していたら **y**、完了していなければ **n** を入力して **Enter** を押す
y の場合：コマンドプロンプトが表示されて処理が進むので自動的に閉じたら完了
n の場合：再度、**Enter** を押すとコマンドプロンプトが閉じる

<覚え書き>実行内容について

コマンドプロンプト(管理者権限)で以下を実行

```
cinst ruby -y ①
cinst graphviz -y ②
cinst jdk8 -y ③
cinst vscode -y ④
cinst sourcetree --version 2.5.5 -y ⑤
```

- ① Ruby (AsciiDoc関連ツールを利用するのに必要)
- ② Graphviz (PlantUML等で記述した図の表示に必要)
- ③ Java (同上)
- ④ Visual Studio Code (AsciiDocをプレビュー可能なテキストエディタ)
- ⑤ SourceTree (GitのGUIツール)

Atlassianアカウントを作成してSourceTreeのサインインに成功したら
 コマンドプロンプト(管理者権限)で以下を実行しアップデートする


```
choco upgrade all -y
```



初めから最新verをインストールしないのはBitbucketに登録せずに利用するため
<https://hepokon365.hatenablog.com/entry/2019/03/25/222814>

3.3. AsciiDoc関連ツールをインストール

以下のバッチファイルをダブルクリックで実行する

```
③AsciiDocToolInstall.bat
```

- コマンドプロンプトが表示されて処理が進むので自動的に閉じたら完了

<覚え書き>実行内容について

コマンドプロンプトで以下を実行

```
gem install asciidoctor ①  
gem install --pre asciidoctor-pdf ②  
gem install asciidoctor-pdf-cjk ③  
gem install asciidoctor-diagram ④  
gem install coderay ⑤
```

- ① AsciiDoc→HTMLに変換用
- ② AsciiDoc→PDFに変換用
- ③ PDF変換のレイアウト崩れ対応用
- ④ PlantUML等の図の記述用
- ⑤ コードのシンタックスハイライト用

社内のネットワークから実施する場合はgemにproxyを指定する

```
gem install xxxx -p proxy http://アドレス:ポート
```



proxyの確認手順

<https://pasokatu.hateblo.jp/entry/2017/07/04/111147>

asciidoctor公式サイト

<https://asciidoctor.org/>

3.4. VScodeの拡張機能をインストール

以下のバッチファイルをダブルクリックで実行する

```
④VScodeExtensionInstall.bat
```

- コマンドプロンプトが表示されて処理が進むので自動的に閉じたら完了

<覚え書き>実行内容について

コマンドプロンプトで以下を実行

```
code --install-extension joaompinto.asciidoctor-vscode ^ ①  
code --install-extension MS-CEINTL.vscodelanguage-pack-ja ^ ②
```

① ASciIDocのプレビュー用

② 日本語表示用



[表示]→[拡張機能]から検索してインストール or コマンドラインからインストール
<https://qiita.com/Kosen-amai/items/03632dee2e1694652f06>

4. 使い方

4.1. VScodeで実際にAsciiDocを書いてみる

ここでは、テストサンプルでプレビューやPDFへの変換を行い、正しく環境構築ができたことを確認します
また、テストサンプルの内容はAsciiDocの文法紹介も兼ねているので参考にしてください

4.1.1. 作業ディレクトリを作成する

配布パッケージ内のtemplateフォルダー一式をローカルPCの任意の場所にコピーして使います
このフォルダー一式が文章のテンプレートとなります

<覚え書き>templateフォルダの中身について

文章作成のための作業ディレクトリを用意

```
└ template/                // 文章のテンプレート一式
├ csv/                    // CSVファイルを格納
├ fonts/                  // フォントファイルを格納
├ images/                 // イメージファイルを格納
└ style/                  // スタイルファイルを格納
```

HTMLのスタイルファイルを用意

asciidocの配布ファイルがWindowsの場合は以下にあるのでコピーして利用

```
// ruby2.6でasciidocのverが2.0.10の場合
C:\tools\ruby26\lib\ruby\gems\2.6.0\gems\asciidoc-
2.0.10\data\stylesheets\asciidoc-default.css
```

PDFのスタイルファイルを用意

asciidoc-pdfの配布ファイルがWindowsの場合は以下にあるのでコピーして利用

```
// ruby2.6でasciidoc-pdfのverが1.5.0.beta.2の場合
C:\tools\ruby26\lib\ruby\gems\2.6.0\gems\asciidoc-pdf-
1.5.0.beta.2\data\themes\default-theme.yml
```



デフォルトのスタイルファイル
css : そのままでも十分使えそう
yaml : いまいちなのでHTML化時のスタイルに寄せた設定に修正してみた (public_style.ymlとして利用)

公式サイト
<https://github.com/asciidoctor/asciidoctor-pdf/blob/master/docs/theming-guide.adoc>

色表現
https://www.lab-nemoto.jp/www/leaflet_edu/ColorMaker.html

PDF化時に文字の色が変わるようにする
https://blog.siwa32.com/asciidoctor_pdf_color/
→「2.2 asciidoctor-pdfのソースを修正する」

フォントファイルを用意

asciidoctor-pdfの配布ファイルがWindowsの場合は以下にあるのでコピーして利用

```
// ruby2.6でasciidoctor-pdfのverが1.5.0.beta.2の場合  
C:\tools\ruby26\lib\ruby\gems\2.6.0\gems\asciidoctor-pdf-  
1.5.0.beta.2\data\fonts\*.ttf
```



参考サイト
<https://ryuta46.com/267>
<https://qiita.com/kuboaki/items/67774c5ebd41467b83e2>

ドキュメントファイルを用意

適当にメモ帳で以下の設定で作成する

```
拡張子 : .adoc  
文字コード : UTF-8
```

格納後の作業フォルダ内はこんな感じになる

```
├─ template/  
│   └─ csv/  
│       └─ fonts/  
│           └─ *.ttf  
│               └─ ...  
├─ images/  
└─ style/  
    └─ asciidoctor-default.css  
        └─ default-theme.yml  
            └─ public_style.yml  
└─ *.adoc
```

4.1.2. VScode を起動する

AsciiDocで書くためのテキストエディタとして使用します

Windowsのスタートメニューから **Visual Studio Code** (以下、VScodeとする) を検索して起動します

4.1.3. テストサンプルを開く

[ファイル]→[ファイルを開く]から `template` フォルダ内の `test.adoc` ファイルを開きます

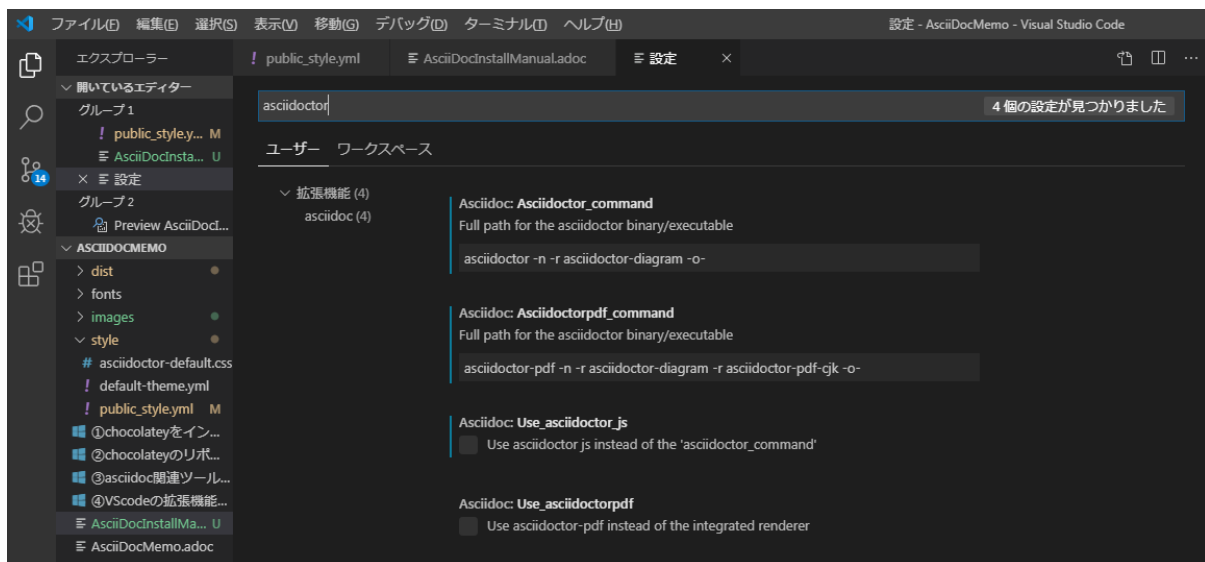
4.1.4. テストサンプルをプレビューする

asciidocctorの設定を変更する

VScode上でプレビュー表示を行うための設定を行います

[ファイル]→[基本設定]→[設定]から `asciidocctor` を検索し、以下の設定を行います

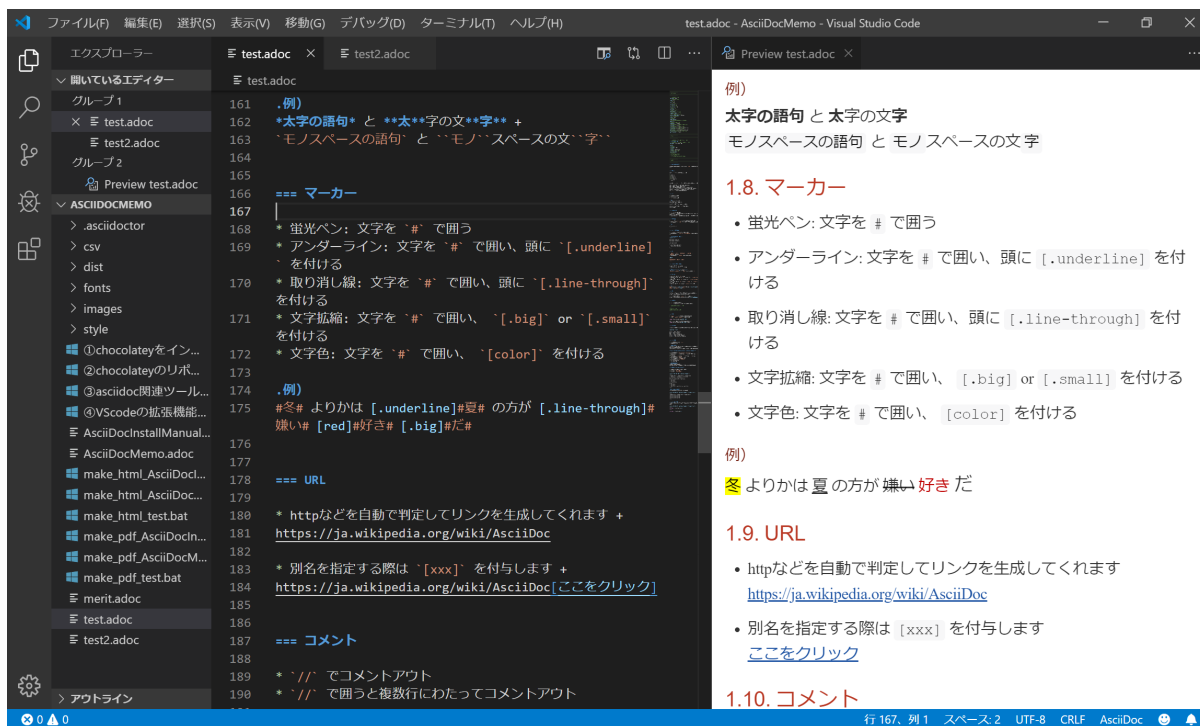
```
asciidocctor_command : asciidocctor -n -r asciidocctor-diagram -o-  
asciidocctorpdf_command : asciidocctor-pdf -n -r asciidocctor-diagram -r  
asciidocctor-pdf-cjk -o-  
use_asciidocctor_js : false(チェックを外す)
```



プレビューを行う

ショートカット `Ctrl+K → V` で画面右側にプレビューが表示されます

参考までにテストサンプルのプレビュー結果を以下に示します



4.1.5. テストサンプルをPDFに変換する

以下のバッチファイルをダブルクリックで実行する

```
make_pdf_test.bat
```

- ・ コマンドプロンプトが表示されて処理が進むので自動的に閉じたら完了
- ・ **test.pdf** が作成されます



必要に応じてパッチファイル内のファイル名を修正してください

-o 変換後ファイル名.pdf 変換前ファイル名.adoc

<覚え書き>実行内容について

コマンドプロンプトで以下を実行(*にファイル名を指定)

```
asciidoc -r asciidoc-diagram -o *.html *.adoc ①
asciidoc-pdf -r asciidoc-diagram -r asciidoc-pdf-cjk -o *.pdf *.adoc ②
```

① AsciiDoc→HTML化用コマンド

② AsciiDoc→PDF化用コマンド

4.2. AsciiDocで書いた文章をGitで管理する

以上で終わりです!